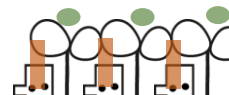


第1回 まちそだてサロン 2回連続講座

## いきいきセカンドライフ ～木工で地域貢献～



**講師**：すみよいくらしサポート 副代表理事  
こもれび工房 代表 中山 照彦

**開催日時：場所**

- ① 2014年3月21日(金) 13:00～14:30 まちづくりスポット神戸  
② 2014年3月28日(金) 13:00～15:00 こもれび工房  
(神戸市須磨区西落合)

**参加者**：定員5名 申込み6名 参加者①21日 6名 ②28日 5名  
**参加者平均年齢**：66.6歳(64歳～72歳)

■講座 第1日目

第二の人生をどう過ごすか?

子育てからも、勤務先のしがらみからも解放された余命を楽しく元気に過ごそう

① 第二の人生への準備

\*自分が本当に好きな事は何か?

⇒しがらみを捨て、本当にやりたいことに取り組む

\*興味がある事にはとにかく積極的に首を突っ込んでみる。

⇒家にこもっていても、何も始まらない。1歩を踏み出すこと!

きちんと正式に学ぶことも大事。(技術・知識の習得)

\*いろいろな人との交流を図る。

⇒いい人や気の合うひとばかりではないけれど、人とのかかわりを持つことが大事

\*社会の役にたつことをする。

⇒「ありがとう!」を聞けることで、やりがい生まれ、生きがいになる。

② 見つかったらとにかく実行してみる。(自分に合ったものか確認し選択)

⇒自分も楽しみながら、かつお客さん(参加者)も楽しんでいただく。

自分が楽しくなければ、相手も楽しくない。

どうすれば、楽しくなるか? 満足感・達成感

③ 仲間づくり

\*同期会、趣味の会、関連ボランティア、区役所(社会福祉協議会、まちづくり課)

⇒一人では、出来ることが限られる。

(声をかける。こちらからそのグループに入っていく。手助けを頼む。)  
行政の窓口も活用

#### ④ 顧客とのコミュニケーション

＊拡販は口コミが最適

⇒顧客のニーズを細かく聞いたうえで、提案をする。(コミュニケーションが大事)

顧客の立場に立って、考える。行動する。

プロがやらない隙間を埋める。

(段差・スロープ・縁側半分補修など手間がかかる小さな仕事も引き受ける。)

顧客満足度向上→「とても良かった！」が、口コミで広がる。口コミは強い！

#### ⑤ 無償ボランティアは続かない。

⇒頑張ったなりの対価をいただくことは、次の事業につながる。

継続していくためにも、無償ではダメ。

#### 質疑応答

Q. 講座受講生仲間で“何か始めよう”と集まったものの前に進まない。

声をかけても来ない人がいる。どうしたら良いか？

A. 仕事ができる人であってもチームで協力しあって出来ないひとがいる。

集まったからといって、同じ気持ちとは限らない。

固定しないで、必要な場面だけ一緒にするというのも良いのでは？

Q. 活動を継続していくために必要なことは？

A. このような講座を開催して、常に新しい人(風)に入ってもらえるようにすること。

また、子ども向け木工教室をするなど、小さな頃から興味を持ってもらい、自分で作るものは、大切にしてくれるので、モノを大切にする気持ちも生まれる。

大人になって、一緒に活動してもらえようになると嬉しいですね。

また、女性にも入ってもらえるといいですね。

やはり、体力がないと活動は継続できない。どうしても体力が衰えてくるので、日ごろから鍛えることが大事。

Q. 木工は、材料費が多くかかりそうだが・・・

A. 間伐材をいただき、加工している。

Q. こもれび工房の会員になれるか？

A. 工房をお貸しすることはできます。1時間〇〇円という具合に。

Q. 仏像を彫りたい。不器用だが出来るだろうか。

A. 教えてくれるところは、あちらこちらにありますよ。ネット等で調べてみては。

私も不器用ですが、何度も繰り返すうちに上手になるので、チャレンジすることが大事。

Q. 活動に出てこない人をどう引き込むか？

A. ボランティア活動を前面にだし、無理やり引きずり出すわけにもいきません。

例えば、「花づくりの講座」「手芸教室」などその人の関心のあるものから入っていただき、「こんなボランティア活動がある」ということを知っていただくことから参加の機会をつくることも良いかもしれません。

Q. 有償ボランティアはいやだという人が、謝金を受け取らない。どうすればいいか。

A. 交通費も何もかも自分で持ち出でのボランティア活動は、継続していくうちにしんどくなることもあります。ボランティア活動をしたいと思う人が無理なく続けられるように有償の考え方は必要です。

また、少しでも謝金をいただくことで、自分の活動に責任を持ち、もっと技術を磨こうというような向上心にもつながります。

ただ、受け取りたくない方のお気持ちも大事にして、受け取っていただいた謝金は、どこかに寄付されるとか、あらたな事業のために使っていただけるようお伝えしてはどうでしょう。

※テレビ東京の取材カメラが入り、みなさん少し緊張されていたようです。

4月6日（日）16：00～16：20（テレビ東京、テレビ大阪）

『定年知らずのハッピー仕事術2』の中で紹介される。







テレビ東京 撮影中



中山さんに作品写真集を見せていただいた

## ■講座 第2日目

(1) 必要な太さの板をつくります。



(2) 板の表面を薄く削り表面をきれいにし均一の厚さにしていきます。



(3) 必要な長さにカット



(4) 電動ドリルで穴をあけ、ドライバーでねじを打ち込みます。



綺麗に切りそろえた部材を組み立てネジで止めていきます。まっすぐに揃っている板なのに組み立てるとガタガタして、歪んだ完成品に顔をしかめる人も。

電動の道具は使い慣れていないこともあり、レバーの引き具合など難しかったようです。「これから通って来ていいですか?」「子どもの木工教室のお手伝いをしたい。」と申し出る人もあり、次の活動につながったようです。

講師に手伝っていただきながら、  
やっと完成!